

施設名	指定管理者名	評価	評価内容
東永谷 地域 ケアプラザ	(社福) 横浜市社会福祉協 議会	S	<p>【地域活動・交流】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●居場所が必要という地域の声を実現するために、5職種が連携し新規事業「みんなのカフェ」開始につなげました。今後の展開（広報の取組・子どもの関わり・町内会等との関係づくりなど）につながるような地域への支援を期待しています。 ●障害児の送迎のボランティア活動については、関係機関との連携の中心的な役割を担い、支援をしています。 ●「レモネードスタンドをやりたい」という高校生の思いを実現するために、地域の協力を得られるよう働きかけをしました。引き続き、子どもたちの「やりたい！」ニーズを実現したり、それを地域とつなげたりするコーディネートを期待しています。 <p>【生活支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●各地域の会合に積極的に出向き、居場所や買い物等具体的なニーズの把握に努めました。 ●商店やコンビニエンスストアなど多様な主体による協議の場を継続的に実施し、見守りカードの拡大など連絡体制強化につながっています。 ●引き続き生活支援コーディネーター連絡会等を通じ、よい取組の発信と吸収を相互に行いながら生活支援体制整備を推進してください。 <p>【地域包括支援センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●5職種が連携して取組み、互いの視点を踏まえて地域を見ることができています。地域に出向き、情報収集や支えあいマップづくりを通して、ニーズを把握し、個別支援や地域支援、事業の企画へと活かしています。 ●積極的に地域とネットワークを構築し、コンビニエンスストア、商店、金融機関などの事業所にも協力を得ることができました。高齢者だけでなく世帯全体の課題について関係機関と調整し支援しました。 ●地域活動交流部門の協力を得て、認知症サポーター養成講座を、キャラバンメイトと一緒に、地域住民や小学生を対象に実施しました。また、通所介護部門と連携し、受講者対象のボランティア講座を実施し、理解を深めるとともにボランティアにもつなげることができました。さらに、地域活動交流と共催で、「ダブルケアサポート」を実施し、負担軽減に取組みました。 ●介護予防の取組みとして地域のサロンに誘ったり、ボランティア講座の実施によりボランティア参加への門戸を開き、本人の能力を活かす活動につなげました。